

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年、グループホームの理念をあげ、事業計画と共に見える所に掲示している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防を実施しているため交流機会は少ない	感染状況の中でも、職員には地域の美化作業等参加してもらい、地域との交流を図ってくださっていると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では書面開催としているが、意見は取り入れている	感染予防対応で地域とのつながりの機会が減少しているが、運営推進委員を中心に、事業所の運営状況等発信できるようにする。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	密な連携には欠けるが、実情を伝え連携に努めている	これまで以上に連携に努め、事業所の実情等も発信していく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1度開催し、年2回の研修で意識づけもできている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き委員会や研修を通して、身体拘束に対する正しい理解を深めて頂きたい。ほとんどの職員が参加しているが、参加していない職員には伝達研修を行う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の研修も取り入れ、防止に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に虐待防止について学ぶ機会を持って頂く。参加できていない職員には伝達研修を行う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去に事業部で講師を招き実施して以降の開催がない。現に成年後見を活用されている方もあり、今後、学ぶ機会を設けたい			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時、改定時等には十分な説明を行い、同意を得ている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃からご家族の意見を伺い、毎年満足度調査アンケートも実施し活用している		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	満足度調査は高い様に思いますが面会の部分で意見が多いため、意見等を反映できるように努めて下さい。コロナ禍でご家族が施設に出向く機会が限られていますが、ご家族の声を聞く方法を工夫してください。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適宜面談や人事考課面談を設け、年2回の意向調査も行い、意見を反映させている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の意見や実績等を管理者会議や事業部会議等で報告、必要な事項を検討して改善に努めている 人事考課面談を実施し、各自の目標やそれに対する到達具合等話し合いながら向上心が持てるよう努めている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談を通して各自が目標設定し、意欲的に業務が行えるように環境を整備して下さい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	インターネット動画配信研修の契約により、多種受講することでサービスにつなげている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でも研修が受講できる環境を整えておられこれからも続けて下さい。又、職員全員が受講できていますか。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は交流があったが、コロナ禍になってから機会がない。 法人内事業部で横の連携を図っている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者と一緒に今までされていた家事を行ったり、ご利用者のペースで生活できるように努めることで、「ただいま」「お帰り」と挨拶ができる関係が築けるよう努めている			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、外出の機会は少ないが、ご家族、友人等と手紙の交流ができるよう支援をしている	感染症対応を行っている中、馴染みの人や場所との関係の継続が難しい側面があるが、現状の支援を続けてもらいたい。また、これまで以上にご家族の声を聴く機会を増やしてもらいたい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活背景等を聞き取るように努め、一人ひとりにあった支援に努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者とご家族の意向確認を行いながら、カンファレンスで十分に話し合い、計画を作成している	引き続き、一人一人に応じたケアプランを作成し実践してほしい。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者がよりよく暮らすために楽しみや生きがいを記載していますか。今後のその方に応じた介護計画を作成しチームで実行してください。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のケース記録や職員間の申し送りをを行い、情報共有に努めている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録や申し送りを今後も丁寧に行い、介護計画に実践に役立ててください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の状況の把握に努め、ニーズ変更が生じた際には、その都度、柔軟に取り組めるよう努めている	この2年間、新型コロナウイルス感染症対策により事業所への立ち入りが制限されており、書内容の実情を検分する機会はないが、職員各位の真摯な説明を受け十分なケアが実践されていると思われる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防もあり地域資源の活用には欠けているが、ご利用者のできる力を活かし安全に暮らせるよう努めている	地域資源については、運営推進委員様と連携を図らせていただき、活用できるよう取り組んでいく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者それぞれの、かかりつけ医に情報提供ができるように努め、健康管理ができるように努めている			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には生活情報を提供し、病院関係者との連携に努め、スムーズな退院ができるよう努めている		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も入退院時には、病院と連携を密にとり、ご利用者が安心して施設に戻ってこられる環境を整えてください。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医とも相談しながら、状況に応じ、ご家族と話し合う機会を設けている		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後の方針について、ご利用者やご家族と十分に話し合い、実現に向けて、医療も含めてチームで支援してください。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練は実施できていないため、今後取り組んでいきたい			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内で年2回避難訓練を実施している。地域との協力体制が築けるように努めていきたい	十分連携が難しいのが現状で体制強化できる方法を検討する必要がある。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症が流行しており地域と共に訓練を行うことが難しいが、普段から災害に備え区との連携が必要。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人生の先輩として、尊重し対応している		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人尊重し、対応されている。運営推進会議でのご家族の話、職員の説明から十分な対応ができていると思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の声を聴き、希望に添えるよう努めている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎週クッキングを取り入れ、ご利用者と一緒にメニューを決め、準備、片付けをしている		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の力を生かして、職員の方がうまくサポートされていると思います。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれに合った食事量、バランスを考え提供している 適宜、特養の管理栄養士に助言を得るようにしている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に合った口腔ケアをしている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オーラルフレイル予防のためにもその方に応じた口腔ケアを今後も続けていきたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの排泄パターンを把握し、失敗が減るように職員間でケアを共有するように努めている。便秘の方のケアにも工夫し取り組んでいる		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人一人の排泄リズムに応じたケアを続けていきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況に応じ、午前・午後とも入浴できる機会を設け、気持ちよく入れるよう努めている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況を把握し、日中も適宜休息を取り入れている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者毎の薬情報を職員が確認できるようにし、症状の変化にも気付けるよう努めている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人一人の疾患や服薬情報も把握し、職員間で情報共有できるように努めていきたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割を介護計画に取り入れ、楽しみ・気分転換ができるように努めている	感染症対応に伴い、閉ざされて空間になってしまう。その中で、ご利用者に応じた楽しみや気分転換の方法を見つけ実践してほしい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防に伴い、外出の機会は減少したが、季節を感じただけのよう、お花見・紅葉狩りを実施し、住まれている地域も一緒にドライブできるように努めた。	ドライブ外出等、継続してもらいたい。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、ご利用者は金銭は所持されていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や友人に手紙・電話ができる支援をしている。また、個人で携帯電話を所持されている方もある。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有の空間はご利用者の状況に応じ、配置を変更している。季節を感じていただけるよう、四季折々の飾りも工夫している		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有のスペースは居心地よく過ごせるように配置されている様子を動画にて見ることができました。季節の飾りつけや、ご利用者の作品を展示しておられ居心地の良い温かい雰囲気になっていると感じました。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の声を聴き、意向にできるだけ応えている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者やご家族から聴き取った生活歴や習慣、趣味等を把握し、職員間で共有している			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面等、自ら訴えられることも限られている場合があり、毎日の健康管理の中で、異常の早期発見に努め、適切なケアや医療が受けられるよう努めている		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でのご家族の話、職員の説明から十分な対応ができていると思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は、リビング・居室、別ユニットへの行き来も自由にされ、就寝時間もその方に応じた対応ができるように努めている			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅と変わらない環境で極力過ごしていただけるよう、家具やなじみの物を含め、入所時に持参していただくようにしている		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみの物を持ちこみ、ご利用者が自宅のように生活されているように感じました。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍になってから外出の機会や行事への参加が少ない	外出の機会が制限されているため、ご利用者が楽しく過ごせるように代替手段を考える。		
46		本人は、自分ができごと・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できること、できないこと等、ご利用者の状況をカンファレンス等を通じ職員間で把握し、役割や楽しみが担っていただけるよう努めている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の趣味に取り組める時間づくりや、ご利用者同士の会話も大切にできるよう、適宜職員が支援している		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者同士が話しやすいように、席の配置を工夫されている。共有スペースで皆さんが穏やかな雰囲気をつくっておられる姿が印象的でした。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で、外出・交流は控えている	外出の機会が制限されているため、ご利用者が楽しく過ごせるように代替手段を考える。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	帰宅願望のあるご利用者も一部おられるが、ほとんどの方は役割を担ったり、職員と親しみを持った関係を築いてくださることで居場所ができている	引き続き、お一人お一人が安心して暮らしてもらえるよう工夫していく。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理や洗濯などされており、穏やかに過ごされている。ご利用者が安心した表情で過ごしておられると感じました。今後もご利用者と職員が家族のように良い関係を築いていきたいです。